

2025年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：医療専門課程

学科：臨床工学科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
9	医療コミュニケーション学Ⅱ	3	15	1	必修	講義	有
20	公衆衛生	3	15	1	必修	講義	有
39	放射線工学	3	15	1	必修	講義	有
45	生体計測装置学実習	3	30	1	必修	実習	有
57	医療安全管理学実習	3	30	1	必修	実習	有
58	関連法規	3	15	1	必修	講義	無
67	脳・神経学	3	15	1	必修	講義	有
68	麻酔科学・救急集中治療医学	3	15	1	必修	講義	有
70	学内実習(呼吸,循環器,浄化,治療器)	3	60	2	必修	実習	有
71	臨床実習指導Ⅱ	3	15	1	必修	実習	有
72	臨床実習	3	180	6	必修	実習	有
76	第2種ME技術実力検定演習Ⅱ(医療機器)	3	30	1	必修	講義	無
77	第2種ME技術実力検定演習Ⅱ(臨床工学)	3	30	1	必修	講義	有
78	国家試験演習	3	360	12	必修	講義	有
81	課外活動Ⅲ	3	30	1	必修	講義	無

東京電子専門学校

開講課程			開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程			臨床工学科	2025		3 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
基礎 必修	講義	医療コミュニケーション学Ⅱ		道下・ 菅	有	1 単位 15 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
①臨床工学技士として社会に出て活躍するために、内定獲得に向けた準備を整える ②文章や言葉で自分を表現し、更に志望する意欲を伝えるために必要な自己表現力を身に付ける ③座学だけでなく演習にも注力し、本番に向けた実践力の向上を目指す						
【講義概要】						
①学生と社会人の違い、並びに医療現場実習に出る前に「医療人としての接遇」の重要性を理解し、ロールプレイ、ワークを通して実践する②応募先に向けた自己PR、志望動機を作成し、応募書類に反映させる ③更に模擬面接を実施し、就職活動の本番に備える						
回	授業計画及び学習の内容					
1	医療現場で求められていること：【オリエンテーション/医療機関とは】					
2	応募書類の作成：【自己PR/志望動機の作成】					
3	医療人としての接遇：【表情・挨拶・身だしなみ・態度・言葉遣い・電話応対】					
4	実践的なコミュニケーション術：【応対のポイント】					
5	社会人としての常識：【ビジネスマナー/仕事への姿勢】					
6	病院実習へ向けたビジネスマナー					
7	応募書類の作成：【自己PR/志望動機の作成，求人票の見方/ES・履歴書の作成】					
8	面接対策：【模擬面接】					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%
（補足）	講義全体を100点満点として採点する。授業後の記述式テスト(2問)70点、授業への参加・意欲30点から評価を実施する。なお出席が2/3以下の場合は成績評価の対象外となるので注意すること					
【教員紹介】						
・ 講義形式、演習、ロールプレイなどを適宜取り入れる ・ 担当教員2名は、元日本航空株式会社の客室乗務員として長年の経験を持つ。現在は医療機関での接遇研修や実務経験が豊富で、医療機関で求められる像を十分に把握しており、就職活動に向けた授業を展開することができる						
【教科書・参考文献】						
①臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本(丸善出版) ②医療の接遇(医療タイムズ社著)						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科	2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	講義	公衆衛生	佐藤安寿	有	1 単位 15 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
公衆衛生の概要を理解し、疫学・保険・健康・社会保障などを習得し国家試験及び個人の健康増進に充てる						
【講義概要】						
健康に悪影響を及ぼす環境や行動、社会的要因を取り除き個人及び対象患者の健康に努めるための学習をする。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	公衆衛生の概念：健康の定義・環境・疾病と障害					
2	疫学・統計学：疫学の意義・人口統計					
3	保健活動１：予防医学・感染症					
4	保健活動２：保健労働衛生					
5	健康保持増進：健康診断・生活集団病					
6	社会保障制度：社会福祉・社会保険・医療保険					
7	生活環境１：大気・水・放射線・騒音・					
8	生活環境２：食品の安全性					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足) 確認テストなどを実施した場合は加点の対象とする						
【教員紹介】						
陸上自衛隊にて衛生職として各部隊の衛生救護員および健康管理に努める。自衛隊中央病院にて衛生材料業務・歯科衛生業務・手術室看護業務および臨床工学技士業務を勤める。また、部隊隊員対象上部・下部内視鏡業務（部隊出張内視鏡検査含）業務も歴任する。また、病院長の命を受け下士官への指導・人事・業績報告を実施						
【教科書・参考文献】						
臨床工学技士標準テキスト						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2025		3 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	放射線工学	石渡 真由美	有	1 単位 15 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

放射線と放射能の基礎を学ぶ。さらに医療現場で必要となる放射線医療機器と医療技術の基礎知識を習得する

【講義概要】

臨床工学技士の関りが多い様々な画像診断装置を中心に、構造・原理・測定方法などを学び、国家試験の対応が出来る知識を得る。また、多職種の業務についても学び、臨床工学技士として出来る業務を知る。

回	授業計画及び学習の内容
1	画像診断装置・放射線について、多職種との連携について
2	超音波診断装置
3	内視鏡装置
4	X線画像診断装置①（X線撮影法）
5	X線画像診断装置②（X線CT）
6	MRI
7	SPECT, PET
8	まとめ
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

（補足） ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

本校臨床工学科卒業後、順天堂大学医学部附属浦安病院、医療法人社団嬉泉会嬉泉病院、特定医療法人社団潤恵会敬仁病院、にて勤務。2018年より本校臨床工学科教員として勤務。

【教科書・参考文献】

臨床工学技士標準テキスト第4版

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	生体計測装置学実習		左藤安寿 高橋浩二	有	1 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
生体計測装置を用いて人の生理を理解し、それぞれのパラメータを理解する							
【講義概要】							
臨床工学技士として生体計測装置との関りを理解し、装置の操作ができる							
回	授業計画及び学習の内容						
1	心電計と誘導法および実測						
2	EtCO ₂ とSP0 ₂						
3	非観血的・間欠的血压測定						
4	非観血的・間欠的血压測定						
5	人工呼吸波形						
6	ドプラー血流測定						
7	血液浄化部門						
8	体外循環部門						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ 実技試験 ）	合計
割合				50%		50%	100%
(補足)		実技試験あり					
【教員紹介】							
佐藤:自衛隊中央病院にて衛生材料業務・歯科衛生業務・手術室看護業務を勤める。また、部隊隊員対象（出張内視鏡検査含）上部・下部内視鏡検査業務を歴任 高橋:2007年5月より人工心肺業務・心臓カテーテル(虚血・IVR・不整脈等)業務・ICU業務・血液浄化業務・PM業務・医療機器管理点検業務等の実務経験有り							
【教科書・参考文献】							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象		
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門	必修	実習		医療安全管理学実習		山中昭広 佐藤優太	有	1 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】								
医療機器の安全運用に携わる職種として求められる視点と知識の習得を目指すとともに、機器を扱う技術の実践をテーマとする。また、医療機器のみならず医療現場全体の安全管理についても触れる。								
【講義概要】								
機器管理（特性確認・点検記録・メンテナンス）に関する実習を行う。各テーマについて班毎にローテーションで実施する。 臨床工学技士として関わる機会の多い医療安全管理について事例研究により検討する。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	ガイダンス、実習時課題説明							
2	漏れ電流の測定							
3	接地線抵抗の測定， 医用電気機器の保守点検							
4	医用電気機器の保守点検							
5	医療ガスの取り扱い， 消毒・滅菌の方法と物品の取り扱い							
6	JMS輸液ポンプメンテナンス講習①							
7	JMS輸液ポンプメンテナンス講習②							
8	医療現場の安全管理：臨床実習における安全管理事例の検討							
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計
割合		50%			50%			100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則としてすべての実習に出席しなければ評価の対象としない。						
【教員紹介】								
山中昭広：大学病院、総合病院に約16年間勤務後教員となる。透析、呼吸器、ME機器管理に従事する。 佐藤優太：臨床工学技士として病院、クリニック勤務を経て東京電子専門学校専任教員となる。								
【教科書・参考文献】								
臨床工学講座 医用機器安全管理学（医歯薬出版）、臨床工学技士標準テキスト（金原出版）、MEの基礎知識と安全管理学（南江堂）								

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科	2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門	必修	講義	関連法規	仲尾次政隆	無	1 単位 15 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
臨床工学技士として勤務していくうえで必要となる法規について学ぶ。国家試験に出題されるような内容はもちろん、医療人として重要な法律についても説明する。						
【講義概要】						
臨床工学技士法はもちろん、他職種に関する法律や医療全般にかかわる法律について、さらに移植や医療安全についても浅いながらも説明していく予定。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	法の概論（法律の意味や用語等の説明、臨床工学技士法の全体像など）					
2	臨床工学技士法の詳細					
3	他職種の法令について					
4	医療法・公正取引などについて					
5	臨床工学技士の業務について（業務指針）、告示研修と追加業務について					
6	医療者としての責任と医療安全について					
7	医薬品、医療機器等法について					
8	臨床研究法、臓器移植法と認定資格について					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合	76%	16%		8%		100%
（補足） 毎講義終了時の復習テストを実施。						
【教員紹介】						
昭和61年本校・医学電子科卒。平成2年・臨床工学技士免許取得。平成3年ME第2種検定取得。						
【教科書・参考文献】						
特になし（独自のプリントを用意）						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門	必修	脳・神経学		清水潤	有	1 単位	15 時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
特に、神経、内分泌、免疫、腎臓における生体のホメオスターシス（恒常性）の維持に重要である機能と、関連する疾患の病態を理解し治療法を学ぶ。							
【講義概要】							
神経、内分泌、腎臓といったホメオスターシス維持に重要な機能を中心に、身体にとって重要な基盤機能とその疾患へのかかわりについて概略を学ぶ。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	神経疾患総論（解剖・生理、検査、診断、治療）						
2	神経疾患各論1（主要な疾患について）						
3	神経疾患各論2（主要な疾患について）						
4	内分泌・代謝疾患総論（解剖・生理、検査、診断、治療）						
5	内分泌・代謝疾患各論1（主要な疾患について）						
6	腎臓疾患総論（解剖・生理、検査、診断、治療）						
7	腎臓疾患各論1（主要な疾患について）						
8	腎臓疾患各論2（主要な疾患について）						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		100%					100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
聖マリアンナ医科大学 免疫学・病害 動物学 特任教授							
【教科書・参考文献】							
特に指定しない。あらかじめ資料を配布するので予習・復習を欠かさないこと。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	講義	麻酔科学・救急集中治療医学		中山英人	有	1 単位 15 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
外科手術には麻酔が不可欠である。麻酔科学は無痛の提供に留まらず，周術期の患者管理全般を扱う。救急医療は緊急に対応が必要な傷病者に対して病院前および病院内で提供される医療である。集中治療は死に瀕した重症患者に提供される集約的な監視，評価を含む治療である。これらの分野においてCEは重要な役割を担っており，業務に必要な知識を習得する。							
【講義概要】							
麻酔科学，救急医療，集中治療について，基礎的な知識から実践的な内容にわたる講義を行う							
回	授業計画及び学習の内容						
1	〔大項目〕麻酔科学 吸入麻酔と静脈麻酔						
2	気管挿管と気道確保						
3	全身麻酔で使用するその他の薬物 麻酔器						
4	麻酔とモニタリング 麻酔と合併症 麻酔・手術と周術期						
5	区域麻酔および局所麻酔 手術室内での安全管理 パインクリニックおよび緩和医療						
6	〔大項目〕救急医療 救急医療体制 災害医療						
7	救急処置 患者管理 脳死 患者搬送						
8	〔大項目〕集中治療 集中治療施設 患者管理						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計
割合	100%						100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。							
【教員紹介】							
東京都立神経病院において麻酔科・ICUの責任者として21年間勤務 2013年より埼玉医科大学病院麻酔科・集中治療部教授 2023年より日本蘇生学会代表理事							
【教科書・参考文献】							
臨床工学技士標準テキスト 第4版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門 必修	実習	学内実習(呼吸, 循環器, 浄化, 治療器)		石渡 山中 高橋 土屋	有	2 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
病院実習において、臨床現場で行われている実際の治療に対する理解度の向上を目的とする。実習は体外循環分野・呼吸療法分野・血液浄化療法分野・治療機器分野の4分野を行う。						
【講義概要】						
2 年次後期に履修した体外循環分野・呼吸療法分野・血液浄化療法分野・治療機器分野の各実習の振り返りを行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	治療機器学分野 1（高橋）					
2	治療機器学分野 2（高橋）					
3	呼吸療法分野 1（山中）					
4	呼吸療法分野 2（山中）					
5	体外循環分野 1（土屋）					
6	体外循環分野 2（土屋）					
7	血液浄化療法分野 1（石渡）					
8	血液浄化療法分野 2（石渡）					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%
(補足) 実習の内容と実習室はクラスによって変更となるので注意すること。						
【教員紹介】						
石渡：本校臨床工学科卒業後、順天堂大学医学部附属浦安病院、医療法人社団嬉泉会嬉泉病院、特定医療法人社団潤恵会敬仁病院、にて勤務。2018年より本校臨床工学科教員として勤務 山中：大学病院、総合病院に約 1 6 年間勤務後教員となる。透析、呼吸器、ME機器管理に従事する。 高橋：2007年5月に自衛隊中央病院に入職し、人工心肺業務・心臓カテーテル(虚血・IVR・不整脈等)業務・ICU業務・血液浄化業務・PM業務・医療機器管理点検業務等の実務経験有り 土屋：臨床工学技士として東京女子医科大学病院に8年間、血液浄化業務、集中治療業務、医療機器管理業務、カテーテル検査・治療業務、手術室業務、補助人工心臓管理業務に従事していた。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	臨床実習指導Ⅱ		佐藤安寿 土屋	有	1 単位 15 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
臨床実習に臨む学生は接遇に併せて基礎的な知識・技術を習得する。その過程において臨床実習前に修得した内容臨床実習に生かし、臨床実習後に知識・技術を向上させてることを目標とする							
【講義概要】							
守秘義務・個人情報・インフォームドコンセント・感染予防について講義をし、臨床実習終了後に試問及び筆記試験を実施。スタンダードプリコーションについては実技を交え技術を習得する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	臨床実習前	守秘義務					
2		個人情報保護法					
3		清潔と不潔・感染対処					
4		インフォームドコンセント					
5		手洗いとガウンテクニック					
6		手洗いとガウンテクニック					
7	臨床実習後	手洗いとガウンテクニック					
8		手洗いとガウンテクニック					
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合 (補足)					100%		100%
【教員紹介】							
佐藤:自衛隊中央病院にて衛生材料業務・歯科衛生業務・手術室看護業務を勤める。また、部隊隊員対象（出張内視鏡検査含）上部・下部内視鏡検査業務を歴任 土屋:臨床工学技士として東京女子医科大学病院に8年間、血液浄化業務、集中治療業務、医療機器管理業務、カテーテル検査・治療業務、手術室業務、補助人工心臓管理業務に従事していた。							
【教科書・参考文献】							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門 必修	実習	臨床実習		各病院実習責任者	有	6 単位 180 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
臨床実習に臨む学生は接遇に併せて基礎的な知識・技術を習得する。その過程において臨床実習前に修得した内容臨床実習に生かし、臨床実習後に知識・技術を向上させてることを目標とする						
【講義概要】						
守秘義務・個人情報・インフォームドコンセント・感染予防について講義をし、臨床実習終了後に試問及び筆記試験を実施。スタンダードプリコーションについては実技を交え技術を習得する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	呼吸器関連業務：人工呼吸装置の点検、その他の呼吸器関連業務実習					
2	人工心肺関連業務：人工心肺装置の点検、その他の人工心肺関連業務実習					
3	補助循環関連業務：補助循環装置の点検、その他の補助循環関連業務実習					
4	血液浄化関連業務：血液浄化装置の点検、その他の血液浄化関連業務実習					
5	ペースメーカー関連業務：ペースメーカー等の点検、その他のペースメーカー関連業務実習					
6	集中治療関連業務：生命維持管理装置の点検、その他の生命維持管理関連業務実習					
7	手術関連業務：手術関連機器の点検、その他の手術関連機器関連業務実習					
8	鏡視下手術における視野確保関連業務実習：内視鏡手術システムの点検、その他の内視鏡手術システム関連実習					
9	心・血管カテーテル治療関連業務実習：カテーテル関連機器の点検、その他のカテーテル関連業務実習					
10	保守点検関連業務：点検の実施、その他の点検関連業務実習					
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	20%		60%	20%		100%
（補足） ・臨床実習期間中に設定されている登校日に出席すること						
【教員紹介】						
各病院臨床実習責任者						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
医療専門課程		臨床工学科	2025		3 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
独自科目 必修	講義	第2種ME技術実力検定演習Ⅱ(医療機器)		荒木 宏之	無	1 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
演習を通してME技術（電気・電子・情報工学）の理解を深める。							
【講義概要】							
第二種ME技術試験対策として既出問題を解説する。ME試験既出問題を1回につき数問取り上げ、演習形式で解説する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	電気工学（1）	電気素子					
2	電気工学（2）	電気回路論					
3	電気工学（3）	交流回路					
4	電気工学（4）	電磁気学					
5	電気工学（5）	電力装置					
6	電子工学（1）	半導体素子					
7	電子工学（2）	演算増幅器					
8	電子工学（3）	論理回路					
9	電子工学（4）	通信工学					
10	情報工学（1）	デジタル情報					
11	システム工学（1）	ブロック線図・伝達関数					
12	情報工学（2）	コンピュータハードウェア					
13	情報工学（3）	コンピュータソフトウェア					
14	情報工学（4）	コンピュータネットワーク					
15	情報工学（5）	医用情報システム					
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)		100%					100%
【教員紹介】							
博士（工学） 青色発光半導体材料に関する研究、東京理科大学基礎工学部電子応用工学科 助手（1989年～）、東京電子専門学校医療専門課程臨床工学科 専任講師（1997年～）							
【教科書・参考文献】							
MEの基礎知識と安全管理							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
独自科目 必修	講義	第2種ME技術実力検定演習Ⅱ（臨床工学）		土屋 裕也	有	1 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
後天性の心血管病及びその治療や治療に使用する生命維持管理装置について理解し第2種ME実力検定試験の合格を目指す。							
【講義概要】							
循環器病の各論、補助循環装置について講義及び問題演習を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	後天性心疾患 不整脈① 徐脈性不整脈 洞機能不全症候群 房室ブロック						
2	後天性心疾患 不整脈② 頻脈性不整脈 心房細動 心房粗動						
3	後天性心疾患 不整脈③ 上室性頻拍 房室結節リエントリ頻拍						
4	後天性心疾患 不整脈④ WPW症候群 房室回帰頻拍						
5	後天性心疾患 不整脈⑤ 心室頻拍 心室細動						
6	後天性心疾患 不整脈⑥ 心房期外収縮						
7	後天性心疾患 不整脈⑦ 心室期外収縮						
8	後天性心疾患 不整脈⑧ 脚ブロック Brugada症候群						
9	血圧異常 高血圧 低血圧						
10	大動脈疾患① 動脈瘤 胸部大動脈瘤 大動脈弁輪拡張症 胸腹部大動脈瘤						
11	大動脈疾患② 動脈瘤 腹部大動脈瘤 解離性大動脈瘤						
12	末梢動脈疾患① 高安動脈炎 閉塞性動脈硬化症 閉塞性血栓血管炎						
13	末梢動脈疾患② レイノー症候群 急性動脈閉塞症						
14	静脈疾患② 深部静脈血栓症 肺血栓塞栓症 リンパ管疾患						
15	補助人工心臓 体外設置型 植込み型						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		90%	5%		5%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
臨床工学技士として東京女子医科大学病院に8年間、血液浄化業務、集中治療業務、医療機器管理業務、カテーテル検査・治療業務、手術室業務、補助人工心臓管理業務に従事していた。							
【教科書・参考文献】							
病気が見えるVol.2循環器 第5版 臨床工学講座 生体機能代行装置学 体外循環装置 第2版(見目 恭一編集、医歯出版株式会社)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
独自科目 必修	講義	国家試験演習		臨床工学科教員	有	12 単位 360 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
国家試験過去問演習と、その解説を通じた国家試験合格水準に達する学力を身に着けることを目的とする。							
【講義概要】							
国家試験出題分野毎に講義し、出題傾向の分析と対策を行う。 なお各回のテーマはそれぞれ数時間をかけて実施する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	医学概論（医学基礎）						
2	医学概論（人の構造と機能）						
3	臨床医学総論						
4	生体計測装置学（計測基礎、電気・磁気計測、物理・化学計測）						
5	生体計測装置学（画像診断）						
6	治療機器学（治療基礎）						
7	治療機器学（各種医療機器）						
8	安全管理学						
9	電気電子工学（電気・電子工学）						
10	電気電子工学（システム工学、情報処理工学）						
11	生体機能代行装置学（呼吸療法装置）						
12	生体機能代行装置学（体外循環装置・補助循環装置）						
13	生体機能代行装置学（血液浄化療法装置）						
14	機械工学						
15	生体物性材料工学（生体物性、医療材料）						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		90%	5%		5%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
医療の現場等で医療技術者としての役割を担ってきた経験者による講義							
【教科書・参考文献】							
病気が見えるVol.2循環器 第5版 臨床工学講座 生体機能代行装置学 体外循環装置 第2版(見目 恭一編集、医歯出版株式会社)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科		2025		3 年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
独自科目 必修	講義	課外活動Ⅲ		山中昭広 佐藤優太	無	1 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
種々の活動を通じて他者とのコミュニケーションや共同作業の経験を積むことで、チーム医療の精神を学ぶ。また、各種セミナーや臨床実習発表会への参加により臨床工学技士としての将来像を明確にする。 臨床工学技士国家試験の受験に向けて自身の学力を把握する。							
【講義概要】							
学園祭におけるイベント運営やグループワークなど学生主体の体験を重視して実施する。 定期的な学力判定試験の実施により国家試験への到達度を確認する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	進級ガイダンス						
2	学力判定試験						
3	学園祭準備						
4	学園祭準備						
5	学園祭						
6	学園祭						
7	学園祭						
8	学園祭						
9	学園祭片付け						
10	学園祭片付け						
11	臨床実習発表会の準備						
12	臨床実習発表会の参加						
13	国家試験ガイダンス						
14	在校生向けセミナーの受講						
15	在校生向けセミナーの受講						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合					100%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として全授業回数に対する欠席回数が1/3以上の場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
山中昭広：大学病院、総合病院に約16年間勤務後教員となる。透析、呼吸器、ME機器管理に従事する。 佐藤優太：臨床工学技士として病院、クリニック勤務を経て東京電子専門学校専任教員となる。							
【教科書・参考文献】							
適宜配布する。							